

マタイ 31

キリストの 家族として歩もう

マタイ福音書12章38～50節

悪い時代・悪霊・分断

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

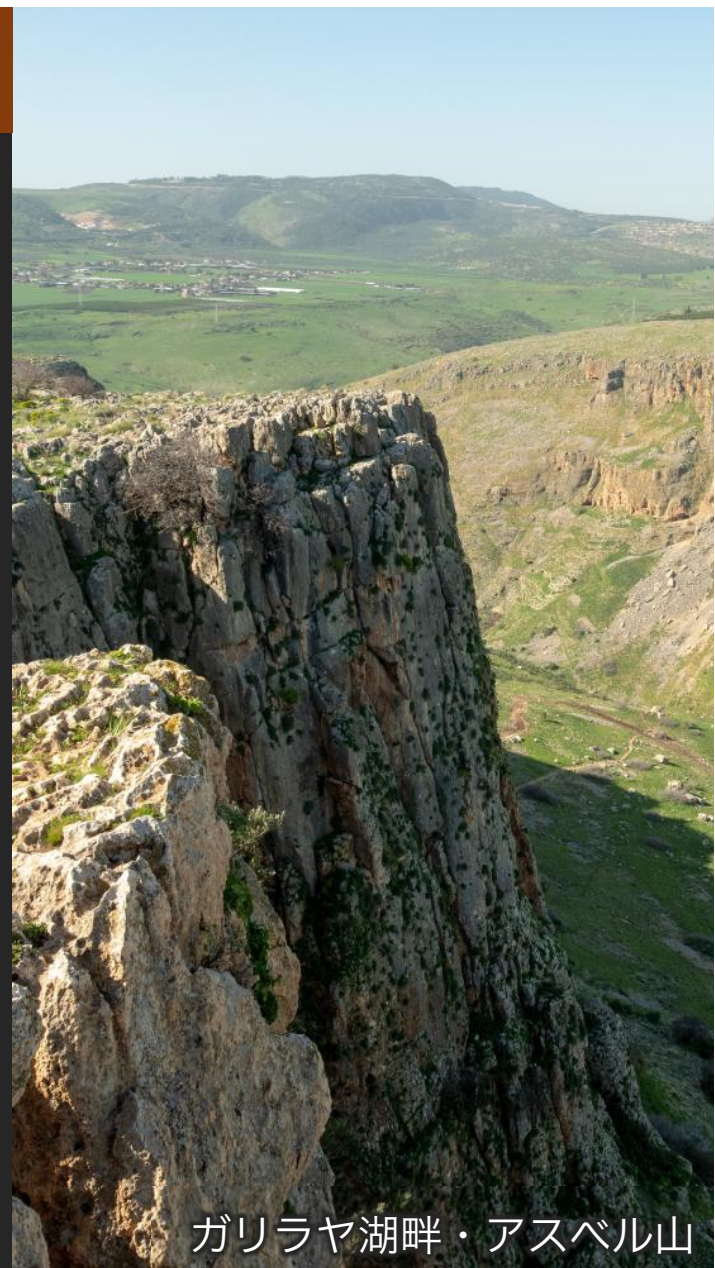
I. 姦淫の時代のしるし 12:38～42

II. 悪霊と悪い時代 12:43～45

III. キリストの兄弟姉妹 12:46～50

IV. まとめと適用

聖霊を冒瀆する罪





0. イントロダクション

カペナウムの再現図

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)

① 観察

② 審問

③ 審判

ベルゼブル論争

バプテスマ

荒野の誘惑

弟子の召命

宣教開始

メシア的奇跡

安息日(律法解釈)論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐

紀元70年
エルサレム陥落



ついに下された、サンヘドリンの結論

- 「ナザレのイエスはメシアなのか？」
- サンヘドリン(ユダヤ議会)の公式見解
 - ➡悪霊のかしら(サタン)の力によるイエスの奇跡
- メシアの活動の中心は、大衆伝道から弟子訓練へ
 - ➡奇跡のメシアを証明する役割は、終了



Ⅰ. 姦淫の時代のしるし

マタイ福音書12章38～42節

ガリラヤ湖

本編

求められたしるし マタイ12:38

そのとき、律法学者、パリサイ人のうちの何人かがイエスに「先生、あなたからしるし*を見せていただきたい」と言った。

＊メシアのしるし、メシア的奇跡

…メシアにしかできないとされていた奇跡

■ どんな奇跡も悪霊のせいにするのに!!

➡ 直前に、目も口もきけない人から悪霊を追い出す、メシア的奇跡を行っている!!



本編

ヨナのおしるし マタイ12:39

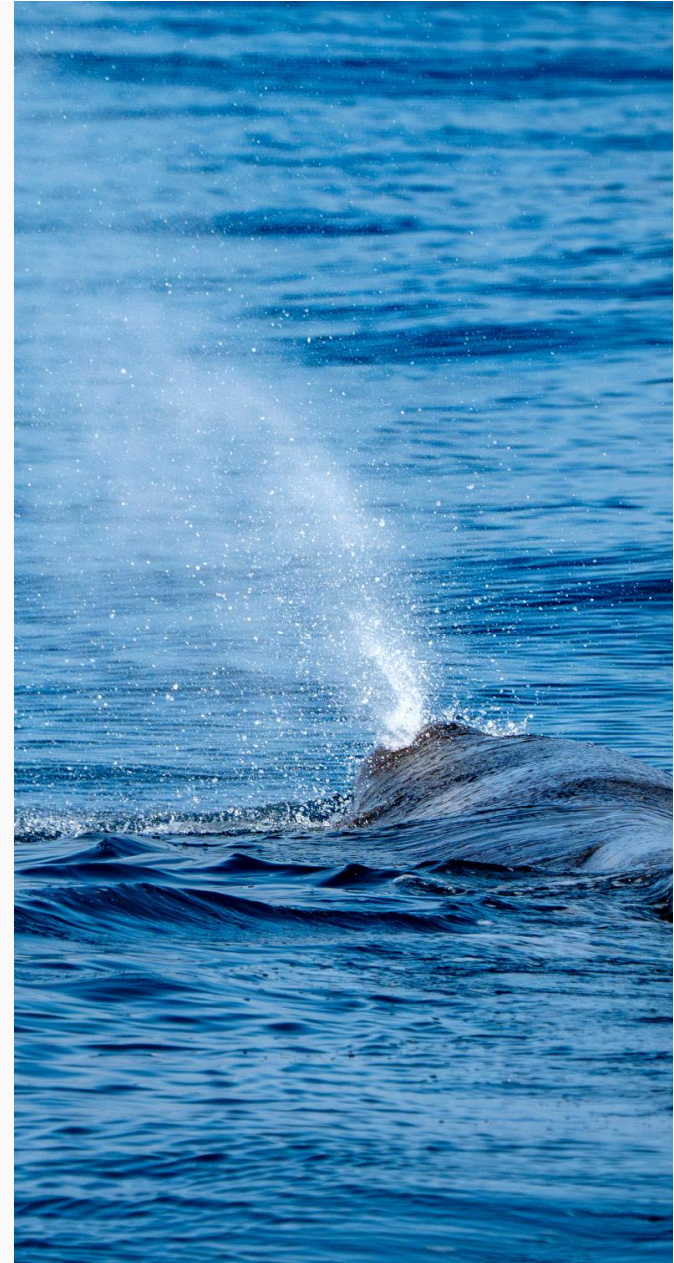
しかし、イエスは答えられた。「悪い、姦淫の時代*はおしるしを求めますが、おしるしは与えられません。ただし預言者ヨナのおしるし*は別です。

ヨナが三日三晩、大魚の腹の中にいたように、人の子も三日三晩、地の中にいるからです。」

*イスラエルのメシアの公的拒絶から、艱難期に民族的回心に至るまで。(恵みの時代)

*メシアの復活のおしるし

…ヨナのお生(魚の腹で死)は、メシアの影



本編

悔い改めたニネベ マタ12:41

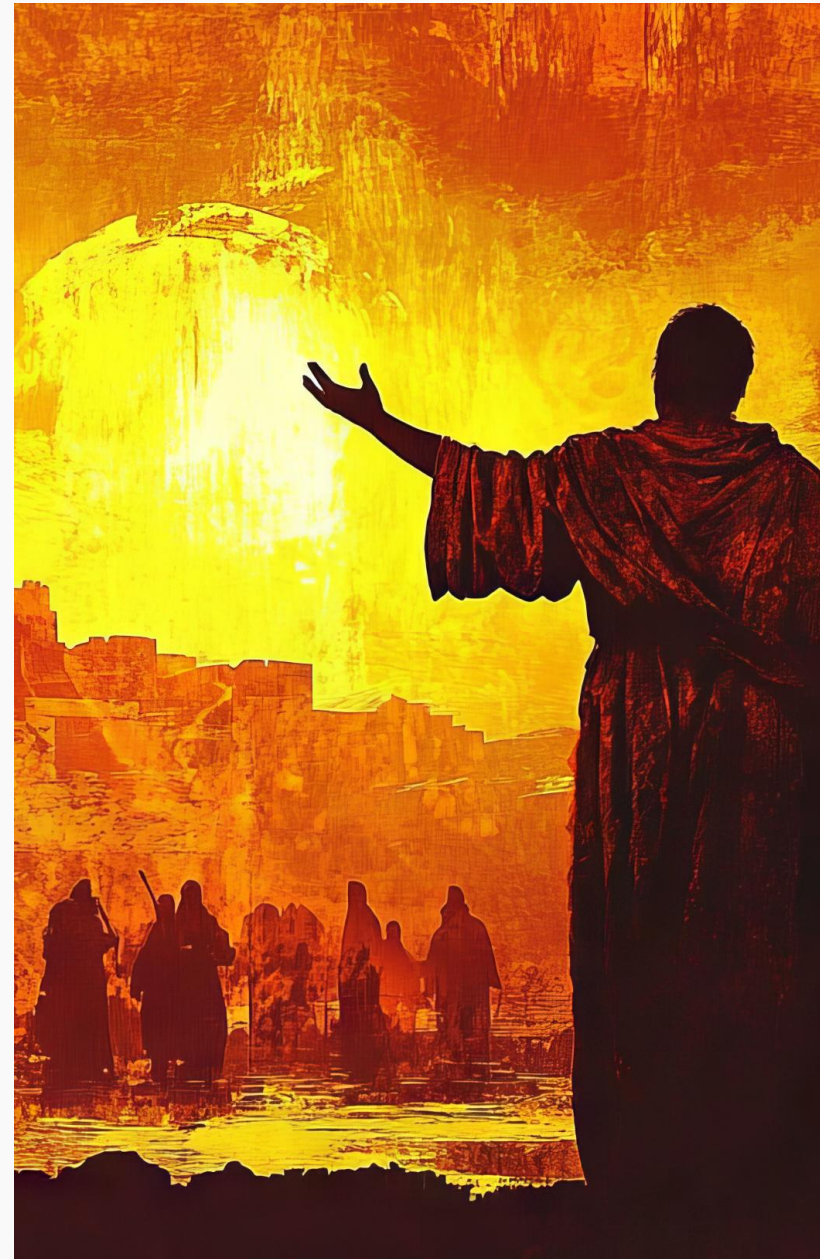
ニネベ*の人々が、さばきのとき*にこの時代の人々とともに立って、この時代の人々を罪ありとします。ニネベの人々はヨナの説教で悔い改めたからです。しかし見なさい。ここにヨナにまさるものがあります。

*イスラエルを苦しめたアッシリアの首都。

*メシア再臨の時

■「あと40日するとニネベは滅びる」

➡一日分も歩かない内に、悔い改めた



本編

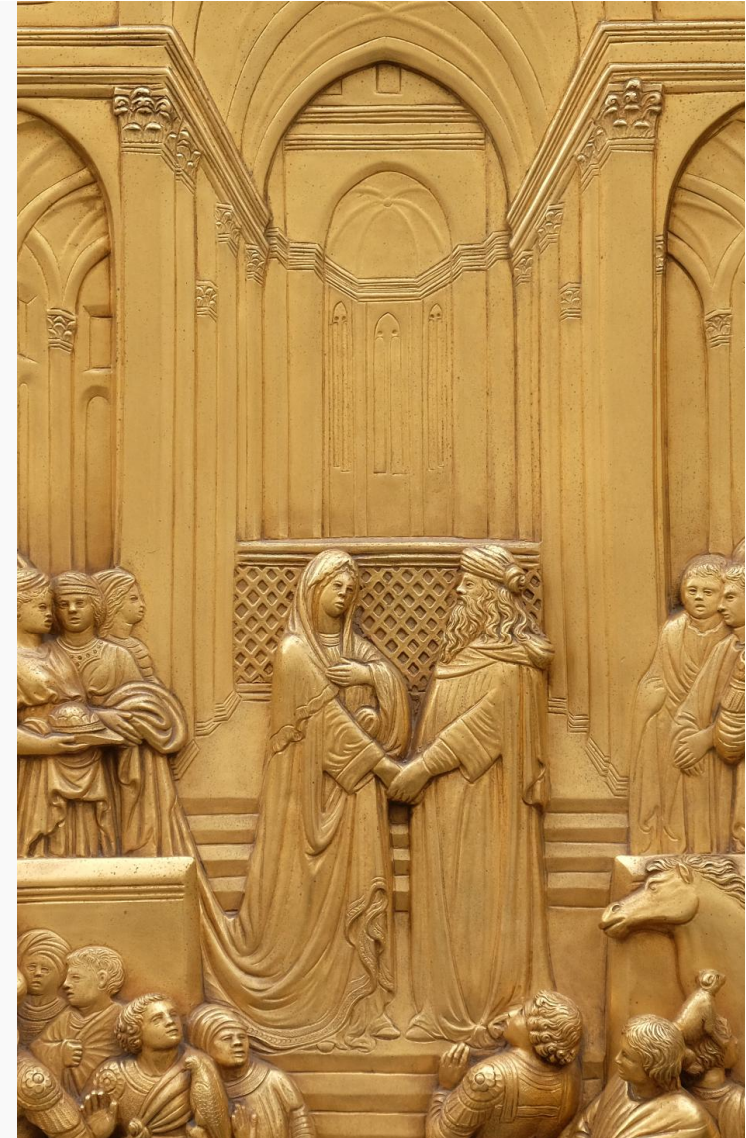
シェバの女王 マタイ12:42

南の女王*が、さばきのときにこの時代の人々とともに立って、この時代の人々を罪ありとします。彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たからです。しかし見なさい。ここにソロモンにまさるものがあります。

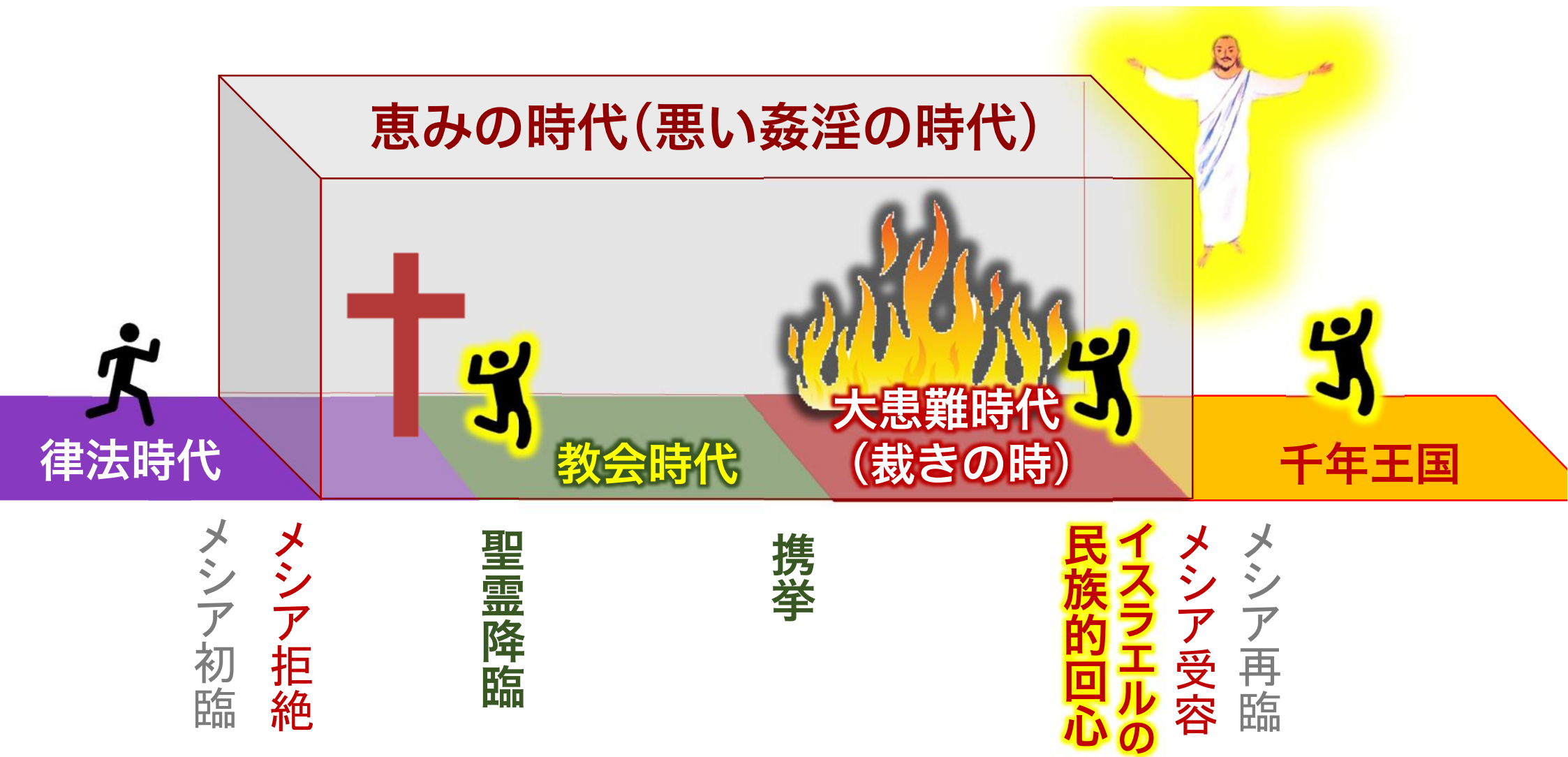
*シェバの女王(1列10:1)

■ 神の言葉を求めて、はるか遠方から巡礼。

■ 恵みの時代に、多くの異邦人の信仰者が!!



裁きの時、すべての人は、報いか、裁きか、二分される



信じた者が恵みを得る一方、背教と罪も増していく

さばきのとき(大難難時代)

■ 第一義的には、イスラエルへの最後の裁き

■ 最後の宣教の時 …14万4千人のユダヤ人による世界宣教。
二人の証人による奇跡。悔い改めの促し。

■ 2/3以上のユダヤ人は、天災や反キリストの迫害によって死亡。

■ 生き残った1/3は、最終戦争(ハルマゲドン)の民族殲滅の危機に、
民族的回心。

さばきのとき(大艱難時代)

■ エノクの預言 黙示録1:14～15

「見よ、主は何万もの聖徒*を引き連れて来られる。すべての者にさばきを行い、不敬虔に生きる者たちのすべての不敬虔な行いと、不敬虔な罪人たちが主に逆らって語ったすべての暴言について、皆を罪に定めるためである。」

*旧約時代に主を信じた異邦人も含まれる

(悔い改めた二ネベの人々、シバの女王…)

さばきのとき(大艱難時代)

■ 天上の礼拝 長老たちの讃美 黙示録11:17~18

「私たちはあなたに感謝します。今おられ、昔おられた全能者、神である主よ。あなたは偉大な力を働かせて、王となりました。諸国の民は怒りました。しかし、**あなたの御怒り**が来しました。死者がさばかれる時、あなたのしもべである預言者たちと聖徒たち、御名を恐れる者たち、小さい者にも大きい者にも報いが与えられる時、地を滅ぼす者たちが滅ぼされる時です。」

王なるメシアは、信じた者を報い、拒絶した者を裁く



Ⅱ. 悪霊と悪い時代

マタイ福音書12章43～45節

乾期のガリラヤ湖

本編

悪霊の行く末 マタ12:43～44

汚れた霊*は人から出て行くと、水のない地*をさまよって休み場を探します*。でも見つからず、『出て来た自分の家に帰ろう』と言います。帰って見ると、家は空いていて、掃除されてきちんと片付いています。

＊悪霊 ＊荒野(悪霊の住みか)

＊依代がないと苦痛?! 地上にとどまれない?!

➡豚に乗り移らされた悪霊(マタイ8:30)

■イエスが追い出した悪霊の行き先は？
よみの深いところ?! もしくは漂流?!



ユダの荒野

本編

悪い時代の末路 マタイ12:45

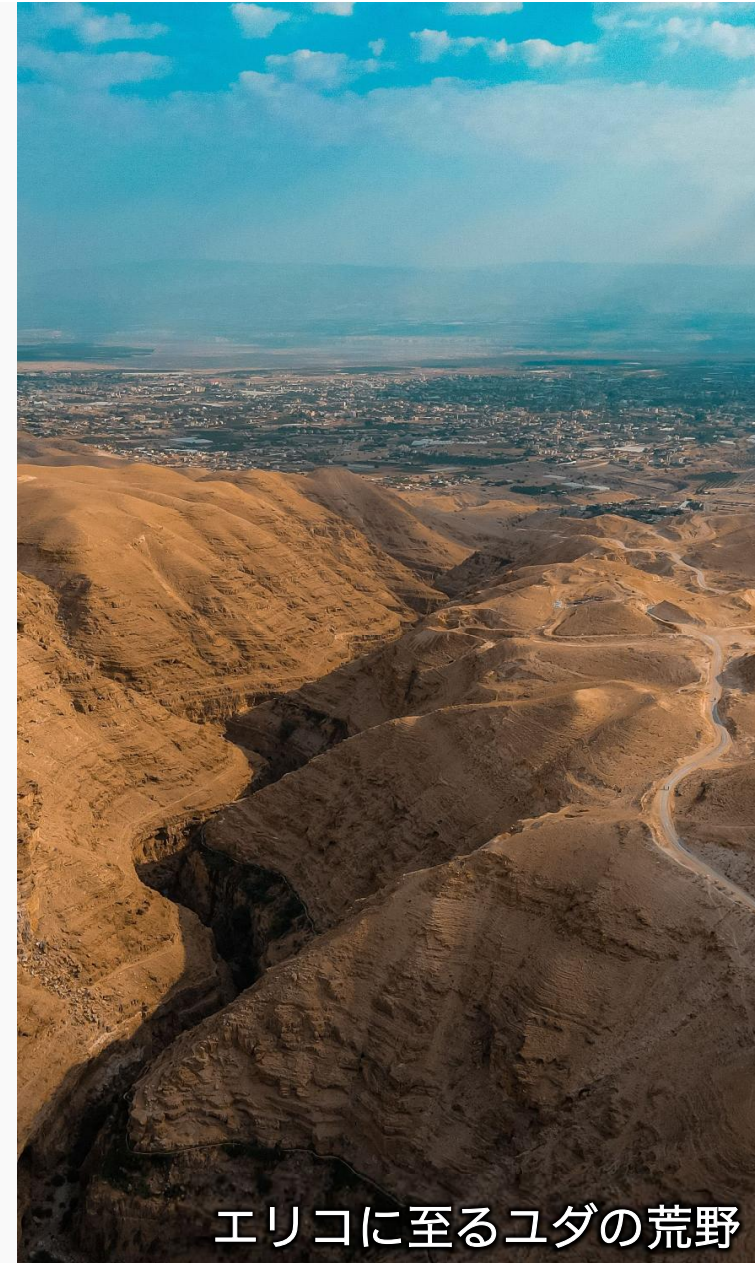
そこで出かけて行って、自分よりも悪い、七つのほかの霊*を連れて来て、入り込んでそこに住みつきます。そうすると、その人の最後の状態は初めよりも悪くなる*のです。この悪い時代にも、そのようなことが起こります」

＊7は完全数。悪霊憑きの最悪の状況。

マグダラのマリアは七つの悪霊から解放

■ イスラエルの霊的状况は、悪化の一途。

偽教師、偽預言者の末路も悲惨。



エリコに至るユダの荒野



Ⅲ. キリストの兄弟姉妹

マタイ福音書12章43～45節

ガリラヤ湖

本編

母と兄弟の来訪 マタ12:46～47

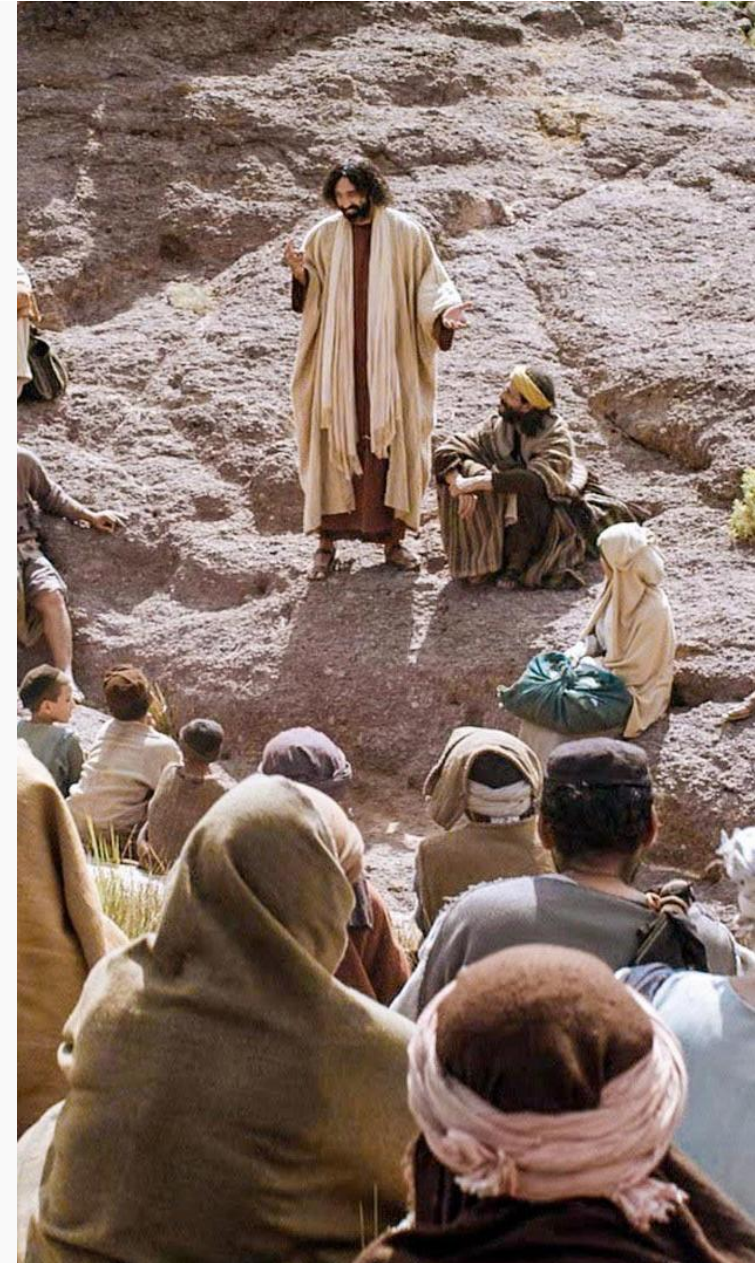
イエスがまだ群衆に話しておられるとき、見よ、イエスの母と兄弟たちがイエスに話をして、外に立っていた。

ある人がイエスに「ご覧ください。母上と兄弟方が、お話ししようと外に立っておられます」と言った。

■ 母と弟たちが、イエスを連れ戻しに!?

➡ サンヘドリンの決定を受けてのこと？

村八分は避けたい。イエスを助けたい。



本編

イエスの返答 マタイ12:48

イエスはそう言っている人に答えて、「わたしの母とはだれでしょうか。わたしの兄弟たちとはだれでしょうか」と言われた。

■ イエスは、
家族の来訪の目的を見透かしていた。



ガリラヤ湖

本編

癒やし マタイ12:49～50

それから、イエスは弟子たちの方に手を伸ばして言われた。「見なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。だれでも天におられるわたしの父のみこころを行うなら、その人こそわたしの兄弟、姉妹、母なのです」

＊イエスをメシアと信じ、従うこと

■ 血のつながりよりも、信仰のつながり。

何より求められるのは、主イエスを信じ、従い、キリストの家族となること。



ガリラヤ湖

IV. まとめと適用

キリストの兄弟姉妹として歩もう

ガリラヤ湖

恵みの時代 = 悪い姦淫の時代

■ イスラエルがメシアを拒み、受容するまでの期間が、

➡ 恵みの時代(悪い姦淫の時代)

➡ 闇が深まるほど、光の輝きが増す

「律法が入って来たのは、違反が増し加わるためでした。しかし、罪の増し加わるところに、恵みも満ちあふれました。

それは、罪が死によって支配したように、恵みもまた義によって支配して、私たちの主イエス・キリストにより永遠のいのちに導くためなのです。ローマ5:20～21」

罪と死による支配か？ 恵みと義による支配か？

この時代に絶えることのない 悪との戦い

「身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、
吼えたける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。
堅く信仰に立って、この悪魔に対抗しなさい。ご存じのように、
世界中で、あなたがたの兄弟たちが同じ苦難を通ってきて
いるのです。Ⅰペテロ5:8～9」

■ 対抗策は、堅く信仰に立つこと。主を信頼し、主に従うこと。

➡ 攻撃は、いつも人の内面に!!

※注意…深入り不要。いつも悪霊払い➡心は悪霊でいっぱい
知らされていないことは、知らなくてよいこと

神の民イスラエルの分断の時代

■主イエスの警告 マタイ10:34～36

「わたしが来たのは地上に平和をもたらすためだ、と思ってはいけません。わたしは、平和ではなく**剣***をもたらすために来ました。

わたしは、人をその父に、娘をその母に、嫁をその姑に逆らわせるために来たのです。

そのようにして家の者たちがその人の敵となるのです。」

■メシアを殺し、使徒を迫害したのは、イスラエルの同胞。

➡メシアを巡る**イスラエルの分断***は、この時代を通して続く

異邦人を用いた イスラエルへの神の計画

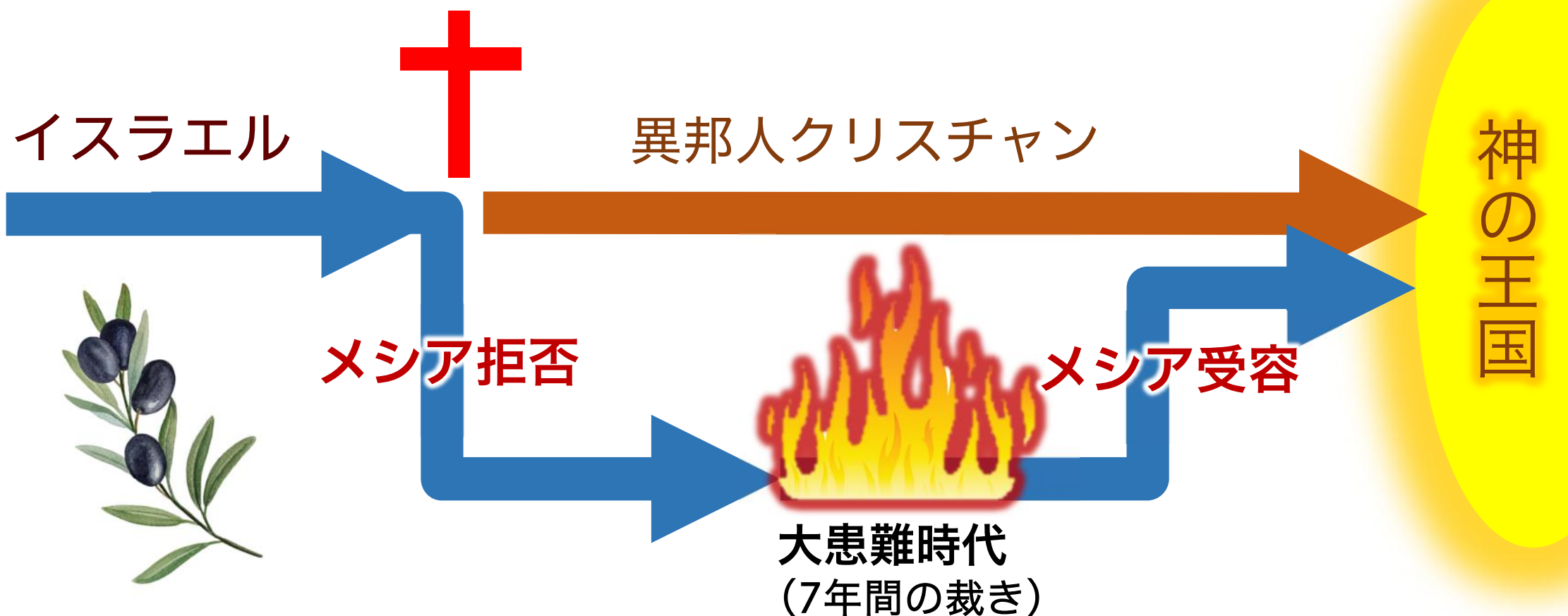
「モーセがこう言っています。『わたしは、民でない者たちであなたがたのねたみを引き起こし、愚かな国民でああなたがたの怒りを燃えさせる。』 ロマ 10:19」

■ メシアを拒み、折り取られたイスラエルは、
接ぎ木された異邦人信者によって、ねたみを引き起こされ、
悔い改めて救いに至る。

➡ この究極が、大艱難時代・さばきのときの民族的回心

イスラエルの救いの計画

メシアを拒んだイスラエルの民族的回心の時が!!



神の民イスラエルの家族の回復＝民族的回心

「見よ。わたしは、【主】の大いなる恐るべき日*が来る前に、預言者エリヤ*をあなたがたに遣わす。

彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる*。それは、わたしが来て、この地を聖絶の物として打ち滅ぼすことのないようにするためである。マラキ書4:5～6」

＊大艱難・再臨の主イエスの裁き

＊バプテスマのヨハネ(初臨前)、二人の証人(再臨前)

＊分断されていたイスラエルの信仰の回復＝民族的回心

私たちにも促される、分断の覚悟

■ 主イエスに従った結果の分断は、誰にも避けがたい。
重要なのは、なお主に従い続けること。

■ 主イエスの家族、母マリア、兄弟ヤコブ、ユダは、後に回心。
ヤコブ、ユダは、教会初期の重要な指導者に。

■ 覚悟をもって主に従い続ける姿が、他者への証しとなる。

➡ 妥協した信仰生活は、証しにならない!!

➡ 本気で主に従い、打ち砕かれ、変えられて行っているか？

みこころを行う人こそ、主の家族

「だれでも天におられるわたしの父の**みこころを行う**なら、その人こそわたしの兄弟、姉妹、母なのです。マタイ12:50」

「わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父の**みこころを行う**者が入るのです。マタイ7:21」

■ 信仰と行いは、不可分。

みこころを知る = 主との一体化。

主イエスに信頼する者は、行いの実を結んでいく

信じるとは、死ぬこと

「まことに、まことに、あなたがたに言います。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。

自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世で自分のいのちを憎む者は、それを保って永遠のいのちに至ります。

ヨハネ12:24～25」

■主イエス・キリストの十字架の死と復活の福音を信じた瞬間、古い私は死んだ。信仰によって義と認められた。➡義認

信じ続けて、変えられていく

「わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。ヨハネ15:5」

■生まれ変わった私にふさわしく、日々、主に聞き従っていく。
内住される聖霊によって、打ち砕かれつつ、変えられていく。

→聖化

私を救われる主権をもたれる 主イエスに信頼しよう

救いの根幹にある、一方的な主の恵み

「あなたがたがわたしを選んだのではなく、**わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命しました。**それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残るようになるため、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものをすべて、父が与えてくださるようになるためです。ヨハネ15:16」

■福音を信じて救われた。振り返って気付かされるのは、信じることができたのも、**主の恵み**だったということ。

➡**恵み**であるがゆえに、この救いは失われることはない

救いの主権をもたれる 主イエスに信頼しよう

★ キリストの兄弟姉妹として歩もう ★

- 恵みの時代である今は、悪い姦淫の時代でもある。
暗闇が深まる一方、光も増す。究極が大艱難の裁きの時。
- 主イエスの復活という、最大の奇跡は成し遂げられた。
十字架の死と復活の福音を、宣べ伝えて行こう。
- 恵みによって、主の兄弟姉妹、家族とされた喜びを、
共に分かち味わおう。人々をこの恵みに招き入れよう。

宣べ伝えるべきは、キリスト

■ I コリント 1:22～24

ユダヤ人はしるしを要求し、ギリシア人は知恵を追求します。

しかし、私たちは**十字架につけられたキリスト**を宣べ伝えます。ユダヤ人にとってはつまずき、異邦人にとっては愚かなことですが、ユダヤ人であってもギリシア人であっても、召された者たちにとっては、**神の力、神の知恵であるキリスト**です。

てん　とう　わたし　つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし　かみ　こ　しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし　つみ　あがな　じゅうじか　し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか　ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ　ふっかつ　しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

やみ　ふか　わる　じだい　しゅ　ひかり　かがや　ま
闇が深まるこの悪い時代に、主の光も輝きを増します。

さいだい　きせき　しゅ　ふっかつ　な　と
最大の奇跡である、主イエスの復活は成し遂げられました。

しゅ　えいこう　すがた　ふたた　こ　とき　ま　のぞ
主イエスが、栄光の姿で再び来られる時を待ち望みます。

しゅ　かぞく　めぐ　うち　わたし　つかわ
主にある家族としての恵みの内に、私たちが遣わしてください。

しゅ　な　いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　アーメン」